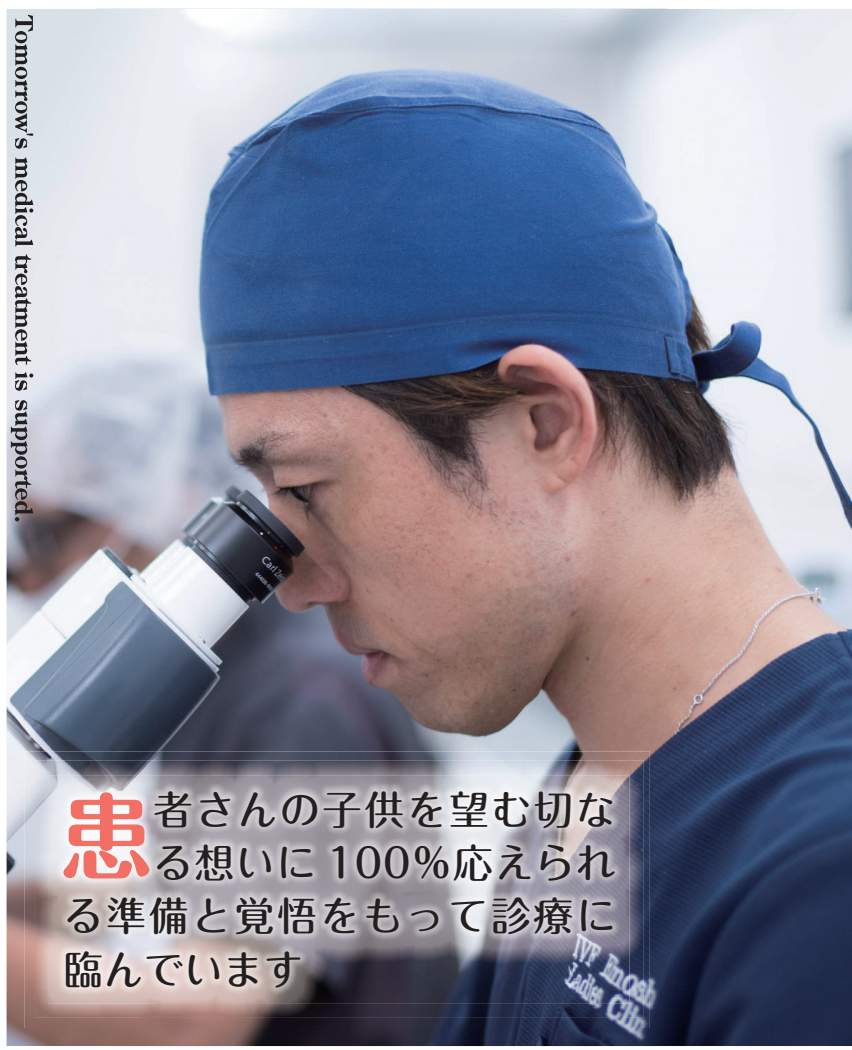




世界水準で最高品質の治療を提供する 不妊治療専門クリニック

妊娠という結果にこだわって患者と向き合い続ける熱血ドクター



Tomorrow's medical treatment is supported.

Koichi Kinoshita

患者さんの子供を望む切なる
想いに100%応えられる
準備と覚悟をもって診療に
臨んでいます

木下レディースクリニック

院長 木下 孝一

滋賀県大津市にある木下レディースクリニック。不妊治療専門施設として機能する同院には、不妊に悩む多くの患者が地元・滋賀のみならず関西一円など遠方からも来院する。

「不妊症に悩む女性は社会構造の変化によって年々増加しています。そうした中、当院で大切にしているのは、患者さんの子供を望む切なる想いに100%応えられる準備と覚悟をもって診療に臨むというスタンスです」

こう力強く話すのは院長の木下孝一医師。「不妊治療は結果が全て」と、並々ならぬ決意で日々、患者と向き合い続ける熱血ドクターだ。

不妊治療が時代に求められていることを強く実感

平成29年に地元・滋賀で父の跡を継いで開業



信頼の主治医

木下院長は学生の頃に産婦人科医だった父親の影響で医師の道を志した。「どの診療科目に進むかを模索していた当時は、人の幸せに関われる産婦人科に魅力を感じていました」

その後、いつしか生殖医療の分野に興味を惹かれていく。「現場で医療に携わる度、不妊治療の需要を痛切に感じました」

不妊治療が時代に求められていることを強く実感した木下院長は、最先端の生殖医療を学ぶべく全国有数の不妊治療専門クリニックへ。ここで知識と経験を積み上げていった。

「勤務医当時、平日はクリニックでの診察。週末は滋賀に帰り父の営む木下産婦人科で不妊外来を担当していました」

週末の不妊外来には当時、悩みを抱える患者がひっきりなしに訪れ、全国での不妊治療の必要



究極の清浄レベルを実現した全面ガラス張りの培養室

性を再認識した。こうした状況の中で木下院長は独立・開業の道を模索するようになる。

「地方でも最高レベルの医療が受けられるクリニックを作れないかと、地元の滋賀で不妊治療専門クリニックを立ち上げようと決心しました」

そして平成29年、父親が長年営んでいた木下産婦人科を引き継ぎ、不妊治療に特化した施設として新たに木下レディースクリニックを開院した。



信頼の主治医

培養室はISOクラス1の究極の清浄空間

培養室の「見える化」で患者に安心・安全を提供

「当院では開院以来、患者さんの想いに応えるために二つの大きなコンセプトを掲げています」

一つ目のコンセプトは「本当に不妊治療を必要とされる患者様に世界水準で最高品質の体外受精を提供する」というものだ。「最高品質」と言葉でいうのは簡単ですが、実際に言葉通りの環境を整えるのは非常にハードルが高いもの」

こう話す木下院長が特にこだわっているのは精子・卵子・受精卵を取り扱うラボと呼ばれる培養室だ。「ラボは不妊治療が成功するか否かの大きな鍵を握る空間です。例えば母体からお預かりした卵子を受精させ、また子宮に返すまでの治療を安全に実施する為には妥協なきラボを作る必要があります。当院では培養室の清浄度から徹底して作り込んでいます」

木下院長は「子宮の中と同じような究極の清浄空間で体外受精を行うことは当院としては当然の準備です」と、開院準備の際には最高レベルのクリーン環境を実現できるシステムを模索。そして辿り着いたのが、KOAACH（フロアコーチ）と呼ばれるクリーンシステムだ。

「このシステムを用いることで、医療業界では初めてとなるISOクラス1（クリーンルーム

のクラスの中で最高レベル）の空間を手に入れることができました」

さらに木下院長はクリーンルームの「見える化」にもこだわり、ラボの壁は全て透明にしている。「当院のラボは外から中の様子がわかるようになっていきます。こうすることで患者さんは身近に不妊治療を感じることができ、理解して治療を続けることができます」

不妊治療の施設では異例といえるラボの「見える化」により、患者に安心を提供する。加えて「安心の提供とともに、ラボを外から見られることで医療の質は間違いなく上がります」とも。

「常に見られているという意識の中で仕事をすすめるスタッフは緊張感を持ち、集中力も極限まで高まります。ラボの「見える化」はいわゆる医療の質の担保にも繋がるのです」

こうした環境に加え、ほかにも院内には木下院長のこだわりが随所にちりばめられており、カウンセリングルームと安静室は全て個室で、カウンセリングルームはリビングのような広く開放的な空間となっている。

究極の清浄空間やラボの「見える化」など、高



木下レディースクリニック



不妊症で悲しい想いをする人を世の中から無くすために毎日奮闘する木下院長

信頼の主治医



不妊症になる前からの新たな女性のサポートを提案する、というコンセプト

不妊症の原因、女性と男性の体の違いを社会全体で理解を

て下さった患者さんに対してはシンプルに短時間で妊娠を達成させるというスピードと結果にこだわった医療を提供しています。そのためには常により良い手段を考え追求していくことも大切です」

木下院長が掲げる二つ目のコンセプトが「不妊症になる前からの新たな女性のサポートを提案する」というものだ。

「これはいわば不妊症になるのを待たない医療対応へと繋げるための正しい情報の発信です。多くの皆さんに妊娠・出産の実情というものをしっかりとご理解頂きたいと思っています」

そもそも不妊症は、子供を望む男女が子作りをしているにも関わらず一定期間（1年）妊娠に至らない状態をいう。「不妊症に悩む女性は今6人に1人と言われ、現在も統計的には増え続けています」

不妊で悩む女性が年々増加してきているのはどうしてか。それは「不妊症の一番大きな原因に鍵が隠されています」と木下院長。

「不妊症の原因はよく仕事やストレス、食事などと

品質と安心・安全を徹底的に追求した施設環境は「数あるクリニックから当院を選んで頂いた患者さんへの準備と覚悟のあらわれです」と力を込める。

信頼の主治医



スタッフ一丸となって日々の仕事に情熱注ぐ

原動力は、子供を望む患者の存在

細部にまで妥協を許さず作り上げられた木下レディースクリニックで働くスタッフは総勢40人。木下院長は「当院のスタッフは経験豊富というだけではなく、皆熱い気持ちをもって仕事に取り組んでくれています」と全幅の信頼を寄せる。

スタッフは日々、患者に良質な医療を提供しようと全体ミーティングや勉強会を行うなど、常に向上心を持ちながら不妊治療に挑んでいる。そんな、スタッフ全員を突き動かす原動力となっているのは「子供を望む患者の存在」だ。

「当院では無事に妊娠し、母子手帳をもらって安定期に入ると患者さんは卒業という形になります。その際に泣いて感謝を下さる患者さんもいらっしゃいますが、同時に私達は子供を授かった感動と喜び、幸せを一緒に分かち合わせて頂ける。この瞬間は全ての苦労や疲れが吹き飛び、今の仕事に就いて良かったなどと改めて感じられる瞬間でもあります」

卒業時には患者との記念撮影やこれまでの治療の歩みを動画にまとめてスタッフ間で共有し「皆で幸せに浸らせて頂いています」と木下院長。

この卒業というゴールに辿り着くため、世界水準の施設環境とスタッフの経験や技量をフル活用し、子供を望む夫婦の願いを叶えていく。

「現状妊娠率を100%にする治療というものは全世界においてありませんが、それでも当院に来

いわれることが多いですがこれらは決定的な要因ではありません。最大の要因は、女性の年齢。もつと厳密に言えば、卵子の老化です」

女性の妊娠率は20代前半をピークに30代を超えると下がりはじめ、35歳では約17%、40歳では約8%。さらに45歳では1%以下という数値になる。「生まれた時からある卵子は20歳なら20年もの卵子、30歳なら30年もの卵子という風に年を経るごとに老化していき、代わりとして新たに作られることはありません」

こうした加齢による卵子の老化という事実には、晩婚化・晩産化の社会背景が不妊で悩む女性が増える構造になっているというわけだ。

一方で「男性の場合は50代でも60代でも性機能はおとろえるものの赤ちゃんを作ることにはできません。女性では生まれた時に作られた卵子を保存しているのに対して、男性では精子を次から次へと新たに生成できるからです」

木下院長は「このような男性と女性の体の違いを女性だけではなく、男性、そして社会全体が理解をすることが大切です」と話す。



信頼の主治医

半年に1度開催される、AMH女性の日セミナー

「正しい情報と自身の状態を把握して後悔のない人生プランを描いて欲しい」

情報発信に力を入れる木下レディースクリニックでは、体外受精説明会や体外受精セカンドオピニオンなどを定期的に関催。中でも半年に1度開催される「AMH女性の日」では、妊娠・出産に関する情報提供とともに、AMH（アンチミュラーリアンホルモン）と呼ばれる卵子の数を調べる検査が行われる。

「AMHは簡単な採血で卵子の数がある程度予測できる検査で、ご自身で卵子の状態を把握することができます」

木下院長はAMHに関して「対象は全ての女性です。未婚の女性も既婚の女性も、子供がいらない女性も、不妊かそうでないかも関係ありません。検査を受けて状態を把握することで『仕事を頑張る』『パートナー選びを頑張る』『子づくりを頑張る』などそれぞれの人生において何か行動を起こすきっかけになればと考えています」と話す。

一方で「勘違いして頂きたくないのが、検査の値が0なら妊娠の確率が0ではないということ。あくまで目安ですので、気軽に受けて頂きたい」とも。

木下院長はこうした妊娠・出産の実際やAMH検査で自身の状態を知った上で「後悔のない人生プランを立てて頂きたい」と呼びかける。

「年齢が妊娠・出産に大きな影響を与えることから、正しい情報をより早く伝えていくことも治療と同様に重要だと考えています。情報を知ることによって子供を作るための行動が変わるのであれば、情報発信が一番の不妊治療といって良いかもしれません」

例えば42歳と37歳のわずか5年の間で妊娠率は10%下がるとのこと。さらに「今は卵子凍結という方法もあります」と、未受精卵を凍結保存し、子供を望んだタイミングで融解し、体外受精によって出産を行う方法で、実際に行う患者は年々増えている。

「20代30代で卵子を凍結させ、落ち着いて相手を見つけてから子供を産みたい。『子供は欲しいけど仕事もバリバリ頑張りたい』という女性が増えれば未受精卵凍結を希望する方も増えるのでしよう」

他にも海外では第3者の卵子で出産を行う卵子提供という選択肢もあり、生殖分野としての選択肢の幅は世界的にどんどん広がっている。（※当院で卵子提供、社会的卵子凍結をお薦めしているわけではありません）

Profile

木下 孝一 (きのした・こういち)

滋賀県出身。平成 20 年藤田保健衛生大学卒業。同 21・23 年藤田保健衛生大学産婦人科助教。同 22 年東京歯科大学市川総合病院産婦人科医師。同 25 年浅田レディースクリニック医師部長。同 29 年浅田レディースクリニック副院長。同年木下レディースクリニックを開業、院長。

所属・活動

日本産科婦人科学会認定 産婦人科専門医。母体保護法指定医師。
American Society For Reproductive Medicine (Doctoral Membership)、
European Society of Human Reproduction and Embryology (Ordinary Membership)

Information

木下レディースクリニック

所在地 〒 520-0806
滋賀県大津市打出浜 10 - 37
TEL 077 - 526 - 1451
URL <https://ivf-kinoshita.com/>

アクセス JR 膳所駅より徒歩 5 分
車の場合 大津インターより車で 5 分

設立 平成 29 年

診療内容 一般不妊治療、高度生殖医療（体外受精）、AMH 外来、月経不順外来

診療時間
月～土曜 9:00～12:00
月・水・木曜 17:00～19:00
休診 火・金・土曜の午後、日・祝日

治療コンセプト
・ AMH（卵子数）で貴方に合った不妊治療
・ 不妊治療はシンプルで最短に
・ 治療の難しい方に新しい治療提案



半年に一度開催される AMH 女性の日セミナー

「これらの情報や知識を得るか得ないかだけで、女性のライフプランは変わると思いますが。それだけに、今後も情報発信は力を入れて取り組んでいかなければなりません」
開院以来、世界水準で最高品質の治療提供。そして、女性をサポートするための情報発信。この二つを柱とした活動を一貫して行ってきた木下院長。
「今は女性の社会進出による少子化がよく叫ばれますが、妊娠・出産と社会進出どちらを優先させるかという考え方は間違っていない、女性も自由に働きながら、子供を産みたい時に産む。そういった人生プランを自然と描ける社会が理想なのです。そのためには、広く社会全体が、妊娠・出産の実情を理解し、子供を産み育てる女性のサポート環境をつくる必要があります」
「不妊症で辛く悲しい思いをする人を世の中から無くす」。木下院長は自身の人生をかけ、この壮大な目標に向かって今後も走り続けていく。